

## 第10回 地域医療貢献奨励賞 受賞者決定について

一般財団法人住友生命福祉文化財団(理事長 田辺恭久)は、自治医科大学(学長 永井良三)の後援を得て、医療に恵まれない地域における医療の確保と向上および住民の福祉の増進を図るため、地域医療に多大な貢献をされている医師を対象とする「地域医療貢献奨励賞」の顕彰を平成19年度より実施しております。

この度、第10回目の受賞者6名が決定いたしましたので、ここに発表いたします。また、表彰式につきましては、平成29年2月25日(土)に、都市センターホテル(東京都千代田区)において実施する予定です。

### 記

#### 1. 選考対象者

永年に亘り、地域における医療の確保と向上及び住民の健康福祉の増進に著しい寄与・貢献があるとして、都道府県から推薦のある医師。なお、自治医科大学出身者については、同大学を卒業し、義務年限を終了した後も、離島、過疎地域、山村地域、特別豪雪地域に位置する医療機関(※)又は地域医療を支援する部門(地域医療行政、へき地医療支援機構、へき地医療拠点病院等)において通算5年以上勤務し、且つ、現在も地域医療に多大なる貢献をしている満40才以上の医師。

(※) 離島振興法、山村振興法、過疎地域自立促進特別措置法、豪雪地帯対策特別措置法の指定地域等。

#### 2. 選考方法

次の9名で構成する選考委員会にて審査・選考。(敬称略)

自治医科大学 学長 (選考委員長)	永井 良三
総務省自治財政局 準公営企業室長	植村 哲
厚生労働省医政局 地域医療計画課長	佐々木 健
自治医科大学 事務局長	赤穂 敏広
自治医科大学 地域医療学センター長	梶井 英治
自治医科大学 卒後指導部長	本間 善之
自治医科大学 顧問指導委員	中川 正久

住友生命保険相互会社 ブランドコミュニケーション部長 藤本 宏樹  
一般財団法人住友生命福祉文化財団 常務理事 若林 昌憲

### 3. 受賞者（順不同、敬称略、年齢は平成28年11月29日現在）

阿部 吉弘（あべ よしひろ、63才）

山形県西置賜郡 小国町立病院・院長

昭和52年日本大学医学部卒。平成3年4月から小国町立病院長として勤務以来、現在まで25年にわたり、山間へき地でかつ全国有数の豪雪地という厳しい生活環境下において、地域住民の安心、安全の砦である町立病院の安定的発展に尽力してきた。また、早くから退院患者の継続看護に取り組み、在宅での生活水準を高めていくことに取り組んだ。さらに、平成5年には在宅介護支援センターを開設し、高齢者の多様な相談に応じる体制を整えた。また、平成17年から毎年10人規模の研修医に対して、地域医療の重要性とその在り方を伝えている。これらの取り組みは、地域医療が抱えている課題解決に向けた多様な試みの継続であり、その根底には「小国町における地域包括ケアシステムの構築」がある。これに果たしてきた業績は大きいと言える。

鈴木 孝徳（すずき たかのり、56才）

千葉県南房総市 南房総市立富山国保病院・院長

昭和59年自治医科大学卒。卒後義務年限内の平成2年6月から旧富山町立富山国保病院に派遣されて以来、平成3年3月には同病院院長となり、義務年限終了後も継続して地域医療に貢献している。特に、義務年限内外の自治医科大学卒業医を集め、医師不足であった富山地区の地域医療の確保・推進に寄与した功績は大きい。また、早くからリハビリテーション事業に着目し、自ら千葉県リハビリテーションセンターへ研修に出向くなど、積極的に活動し、平成9年3月に同病院にリハビリテーション科を開設。さらに平成11年4月には整形外科を開設するなど、公立病院として地域のニーズに的確に対応している。また、平成14年度には、町保健福祉センター長も兼務し、地域の高齢化に対応するため、訪問看護ステーションの設置や各種相談業務の充実を図るなど、町の保健福祉に寄与した。そして平成18年3月南房総市誕生に伴い、病院長として、市の保健、医療、福祉の中心的存在として、地域住民の健康保持増進に大きく貢献するとともに、県南の感染症対策にも寄与する等、一貫して地域医療の推進に多大なる貢献をしている。

金子 吉彌（かねこ よしや、70才）

静岡県静岡市 静岡市大川診療所・所長

昭和58年島根医科大学卒。昭和61年5月から離島である佐渡島の佐渡厚生連羽茂病院勤務において、内科医1名、外科医1名のみという極めて人手が少ない中、地域住民のために骨身を惜しまず診療に従事してきた。その後、公設民営の静岡市大川診療所の前任

の医師が病に倒れ、当該地域が無医地区になる可能性がある中で、前任医師からの要請と、医師招致に対する地域住民の切実な要望に応えるべく、診療所開設を決断した。そして、新潟県佐渡市から静岡県静岡市への移住に加え、静岡市の中心部から20km以上も離れた山間地域での診療所開設という二重の負担があるにもかかわらず、「山間地医療に骨を埋める覚悟」で平成10年9月1日大川診療所所長に就任した。現在に至るまで、小中学校等6校1園の校医、園医を務め、地域の児童生徒の健康増進に貢献している。また、広範囲の往診にも対応し、自ら車を運転して、地域住民のために労力を惜しむことなく往診を行っており、永きにわたり山間地へき地医療の向上に大きく貢献している。

中村 達（なかむら とおる、63才）

奈良県桜井市 南奈良総合医療センター・へき地医療支援センター長

昭和54年自治医科大学卒。平成6年度より特別豪雪地域である新潟県国民健康保険大和町立ゆきぐに大和総合病院に10年間勤務された後、平成16年度より奈良県立五條病院でへき地医療支援部長として、また、奈良県へき地医療支援機構専任担当官として、へき地医療行政の推進に多大な貢献をしている。へき地拠点病院に対する派遣業務の要請、へき地診療所に勤務する医師の派遣調整を行うだけでなく、自らも代診や巡回診療を行うなど、後方支援も積極的に行っており、診療所を設置する市町村からの信頼も厚い。また、自治医科大学卒業医に対し、プライマリアケアの研修を実施し、指導医をまとめる立場として、プログラム作成や研修実施に携わっている。常日頃よりカンファレンスを実施し、へき地診療所で勤務する医師の診療支援を行うなど、若手医師の指導にも熱心に取り組んでいる。

大原 昌樹（おおはら まさき、56才）

香川県仲多度郡 綾川町国民健康保険陶病院・院長

昭和60年自治医科大学卒。昭和62年から香川県三豊総合病院、陶病院を通して約30年、在宅医療を多職種と連携し継続して行っている。三豊総合病院では、へき地巡回診療に継続して取り組み、陶病院では、外来診療、入院診療ともに在宅医療、健康教育、へき地診療所支援などに取り組んできた。いろいろな職種が地域に出かける「移動健康教室」の仕組みをつくり、自らも多くの地域に出向いている。また、香川大学、自治医科大学学生や初期臨床研修医を地域医療実習として継続して受け入れ、平成24年には、「地域医療スピリットin綾川」を開催し、地域住民を交えたグループワークや懇親会を通して、学生等に地域医療について考える場を作った。一方平成17年から「香川シームレスケア研究会」を立ち上げ、在宅や施設を含めた地域連携を当初から模索、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、地域連携室などと連携し、マニュアル・事例集を含めた「医療介護地域連携パス」を完成させた。また、在宅医療のIT化事業にも取り組んでいる。

黒木 重三郎（くろき じゅうざぶろう、86才）

宮崎県東臼杵郡 国民健康保険諸塚診療所・嘱託医、副所長

昭和31年九州大学医学部卒。平成8年に慢性的な医師不足にあえぐ故郷諸塚村に単身で戻ってきた。同年11月着任以来、19年以上にわたり諸塚村の地域医療に率先的に取り組み、患者から厚い信頼を得ており、86才の現在でも現役の勤務医として国民健康保険諸塚診療所に勤務している。諸塚村は過疎化と人口の高齢化が著しい中、いち早く在宅診療を立ち上げ、「待つ医療」から「出かける医療」を心がけ患者やその家族、地域に安心を与えている。また、在宅医療や在宅介護の大切さを理解してもらうために「これからの在宅医療を考える」と題して、諸塚村内16地区の自治公民館で講演を実施する等、患者はもとより地域の住民からも厚い信望を得ている。さらに、平成25年8月1日から診療所内に「地域住民医療相談室」を開設し、個人やその家族などの相談を受けるなど今もなお積極的かつ意欲的に地域医療の発展に取り組んでおり、その姿勢は、県内外の医療を志す者の手本となっている。

#### 4. 表彰式

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 日時   | 平成29年2月25日(土) 15:00より  |
| (2) 会場   | 都市センターホテル7階701号室<br>〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1<br>(TEL) 03-3265-8211 (FAX) 03-3262-3010 |
| (3) 表彰内容 | 表彰状、表彰楯、副賞50万円を授与  |

以上

#### 【問合先】

一般財団法人住友生命福祉文化財団 本部事務局 吉田  
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-5-15  
(TEL) 06-6300-5025 (FAX) 06-6304-8041

《参考》過去9回の地域医療貢献奨励賞受賞者(敬称略)

第9回(平成27年度)

土井 和博	山形県酒田市	酒田市立八幡病院 院長
岸本 秀文	新潟県妙高市	新潟県立妙高病院 院長
金田 道弘	岡山県真庭市	社会医療法人 緑社会 理事長
政井 俊憲	山口県阿武郡阿武町	阿武町国民健康保健福賀診療所 所長
樋口 定信	熊本県上天草市	上天草市立上天草総合病院 事業管理者
馬場 宏敏	大分県中津市	中津市国民健康保健槻木診療所 所長

第8回(平成26年度)

山田 昌弘	山形県東置賜郡川西町	公立置賜総合病院 副院長
藤井 佑二	東京都大島町	大島医療センター 院長
南 眞司	富山県南砺市	南砺市政策参与、地域包括医療・ ケア局地域包括課顧問
二村 昭	三重県南牟婁郡紀宝町	紀宝町顧問
濱田 邦美	徳島県那賀郡那賀町	相生包括ケアセンター センター長
鈴木 済	鹿児島県薩摩川内市	里診療所 所長

第7回(平成25年度)

朝比奈 利明	山梨県南巨摩郡身延町	身延町早川町組合立飯富病院 院長
後藤 忠雄	岐阜県郡上市和良町	郡上市地域医療センター センター長
高見 徹	鳥取県日野郡日南町	日南町国保日南病院 院長
渡辺 俊晴	香川県高松市塩江町	高松市民病院塩江分院 院長
菊池 良夫	媛県西予市宇和町	西予市立宇和病院 副院長
坪山 明寛	大分県豊後大野市清川町	社会医療法人関愛会清川診療所 所長

第6回(平成24年度)

須貝 昌博	山形県西村山郡西川町	西川町立病院 院長
中谷 武	福島県南会津郡南会津町	医療法人南嶺会なかやクリニック 理事長
吉嶺 文俊	新潟県東蒲原郡阿賀町	新潟県立津川病院 院長
浦岡 秀行	徳島県海部郡牟岐町	徳島県立海部病院 部長
小野 歩	高知県幡多郡大月町	大月町国民健康保険大月病院 院長
金丸 吉昌	宮崎県東臼杵郡美郷町	美郷町地域包括医療局 総院長

第5回（平成23年度）

渋間 久	山形県新庄市	県立新庄病院 副院長
田原 邦朗	東京都西多摩郡檜原村	原村国民健康保険檜原診療所 所長
蜂谷 春雄	富山県高岡市	高岡市民病院 内科主任部長
橋本 宏樹	石川県白山市	公立つるぎ病院 副院長兼吉野谷診療所 所長兼中宮診療所 所長
細江 雅彦	岐阜県恵那市	市立恵那病院 管理者
阿部 顕治	島根県浜田市	浜田市国民健康保険弥栄診療所 所長
茶川 治樹	山口県岩国市	岩国市医療センター医師会病院 副院長
永吉 正和	熊本県天草市	天草市病院事業 管理者

第4回（平成22年度）

木村 康一	宮城県登米市	医療法人社団緑水会米川診療所 所長
小野 剛	秋田県横手市	市立大森病院 院長
鈴木 啓二	福島県会津若松市	福島県立会津総合病院 院長
折茂 賢一郎	群馬県吾妻郡長野原町	西吾妻福祉病院 管理者
濱崎 豊	熊本県天草市	国民健康保険天草市立新和病院 院長
長松 宜哉	大分県大分市	社会医療法人関愛会 理事長

第3回（平成21年度）

関口 忠司	栃木県那須烏山市	南那須地区広域行政事務組合立 那須南病院 院長
辻 博	富山県黒部市	黒部市民病院 理事
高田 孝	石川県白山市	公立つるぎ病院 名誉院長
河合 邦夫	福井県南条郡南越前町	河野診療所 所長
赤木 重典	京都府京丹後市	京丹後市立久美浜病院 副院長
本永 英治	沖縄県宮古島市	沖縄県立宮古病院 医療部長

第2回（平成20年度）

青沼 孝徳	宮城県遠田郡涌谷町	涌谷町町民医療福祉センター センター長
大森 英俊	茨城県常陸太田市	医療法人大森医院 院長
山田 寛	静岡県静岡市葵区	静岡市国民健康保険井川診療所 所長
廣内 幸雄	和歌山県伊都郡高野町	高野町立高野山病院 院長
渡邊 賢司	鳥取県岩美郡岩美町	岩美町国民健康保険岩美病院 院長
春口 洋賜	熊本県球磨郡多良木町	球磨郡公立多良木病院 副院長

第1回（平成19年度）

葛西 智徳	青森県三戸郡三戸町	国民健康保険三戸中央病院 副院長
布施 克也	新潟県十日町市	県立松代病院 院長
奥野 正孝	三重県鳥羽市	鳥羽市立神島診療所 所長
榊原 均	島根県隠岐郡海士町	海士町国民健康保険海士診療所 所長
津田 俊彦	長崎県五島市奈留町	長崎県離島医療圏組合奈留病院 院長
今隈 満	鹿児島県肝属郡南大隅町	今隈医院 院長（開業）